



出身地 サポート隊！特集号

『夫のいとは画家だった！』

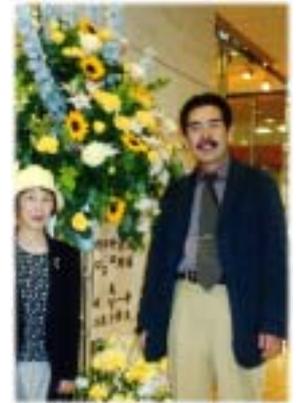
佐賀市在住 野口美智子

郷里・佐賀県出身の夫のいとは、福岡で個展をするらしい・・・と聞いたのは'99年の春だった。少々、油絵をたしなむ私は久しぶりの再会を心待ちにする日が続いたが初めて展覧会々場に入った日、スポットライトを浴びた30点余りの作品を目の当たりにして言葉での表現は難しいけど、いろんな感激が頭をよぎった。

ちょっと、お澄まし、しているような絵 すーっと中に吸い込まれるように、人を引きつける何か！ 洗練された構図 透明な色彩 エキゾチックな心地よい風と爽やかな香りが伝わってくる作風！ それは 昔と変わらない修太さんの人柄をも感じさせていた・・・。時折、修太さんが海外取材中の旅先から送ってくれる絵葉書は、私が一度しか行ったことのないパリやイタリアの空の青を届けてくれる様な気がして大切にしているのですが、大好きな美術番組を見るにつけ、また 訪れてみたいヨーロッパ旅行に心がときめきます。九州での何回目かの個展の時、身内の親しさから・・・油絵制作のコツ！を訊ねた事があります。「筆跡の残らないマチエールはどうしてるの？」修太さんはニコッ！として「プロの秘伝をほんの少し明かしてくれた。(どうも オイルの調合がミソらしい事を?)」

今年も新しい絵との出会いと感動を楽しみにしています。私達親戚グループは、これからも修太さんの活躍を心から期待し、微力ながら応援を惜しまないつもりです。

ガ・ン・パ・レ 修ちゃん！



郷土の星
(佐賀県出身)



吉野ヶ里遺跡



親戚軍団・・・毎年結集！



大興善(つつじ)寺

立派なお花を贈って頂いたり
手作りばた餅の差し入れ・・・etc
全面的支援に 感謝！



DM 作品 「くつろぎの時」 12号 M

『今を生きる女性達』を描きたい・・・！
数年前から修太作品に登場し始めた人物像が、より確かに表現された一点。女性の美しさと、豊かさを、絶妙の色彩と構図の中、
『目』の表情にも、その意思が・・・
伝わってくるかの様だ・・・。



「ボンジュール修太・博多」の皆さんと、東京地区ファンクラブメンバーとの交流会！♪はヤッパリ「博多・祝い唄」一本締め！

「ハマツタのは誰のせい？」

福岡市在住 建部好昭

「ボンジュール修太」福岡三越ギャラリー個展も、遂に4年目を迎えることができました。今・・・当時を振り返ってみると、私は油絵なんて関心もなければ興味もまったくありませんでした。そこに森正憲氏から将来性のあるらしい？油彩感覚あふれた九州・佐賀出身の画家が、我々を頼って来るらしいから、応援してやらんね！と説得され、スッキリはめられたと思ったつもりが・・・。結局、自分自身が完全にはまってしまったのです。それもそのはず、画家・修太さんの人間性がそのまま見事に描かれ、人の心を和ます・安らぎ・温もりを感じずにはいられないからです。(・・・ちなみに1回目のサブタイトル「ぬくもりを伝える絵」は私が命名！)まさに絵と共に呼吸が出来る魅力そのものではないでしょうか！これからはお酒に弱い修太さんに九州流「酒の嗜み方・指南役？」として毎年の個展を楽しみに待つ事にしましょうか。



☆☆春から 初夏 へ・・・今年も「修太展」☆☆

「我が家に“地中海癒しの絵”が遂に来た！」

大野城市在住 森正憲・洋子

思い起こすと4年前、修太先生と知り合い、その絵の“ほっとする”雰囲気惚れ込んで、九州個展開催に奔走しつつ、我が家にも絵が欲しいねと夫婦で語り合っていました。それが現実となったのが2001年、ついに我が家の玄関に飾ることができた。なにもない空間の玄関が、その真っ赤な絵で、華やかな雰囲気になった。

妻:(にこやかに)やはり本物は良いわね～

夫:俺も観ていたものがここにあると思うと、「買えたんだ」と実感するね。

妻:絵を買うなんて縁がないと思っていたけど、小さいけど買えたね。とにかく観ていて嬉しいのは「満足感！」そのものね。

夫:この絵の赤がいいね。絵の楽しみ方なんか知らない俺が、個展の手伝いをしつつ、絵の楽しみ方を知っている人とお会いできたことがよかったよ。

妻:この絵がある限り、人が我が家に来るたび感動を伝えられるね。

夫:今度はいつかオーストラリアの別荘に買いたいね・・・

今年の福岡個展でどんな感動を与えてくれるか、楽しみでもあるし、今から待ち焦がれています！



“画家の視線”シリーズ 「緑の瞳」

南仏の取材を終え、Paris GARE DE LYON(リヨン駅)行きの席に身を沈めたのは午後をまわった頃だった。取材の疲れからか、いつの間にか心地よい眠りについていて私が列車の揺れで目を覚ましたのは、フォンテーヌブローを過ぎたあたりだったと思う・・・。眠っている間に、私の前の席には女性が座っていた。頬杖をついて車窓に目をやっていた彼女が、目を覚ました私の気配に軽い会釈をしてくれた。「俺の寝顔はぶざまじゃなかったか・・・？」突然気になった、口のあたりをぬぐいながら、私の方に向けた目線のその瞳の余りの美しさに動揺を隠せないまま、あわててポケットのタバコを探していた。彼女はそんな私に気が付いた様子も見せず羽織っていたカーディガンのボタンをもう一つかけ直し、車窓の風景を楽しんでいる・・・。いつか！この女性の瞳の絵を描きたいと思った。車窓からのフォンテーヌブローの森の様に深い深い穏やかな緑の瞳を。絵の具で表現出来ないほどの透明感のある緑の瞳を。終着駅を告げるアナウンスが、いやに早く感じられる旅の終わりだった。

Shuta



お知らせコーナ

今後の「修太展」予定

- '02 4/30 ~ 5/6 日・・・福岡三越
- '02 7/17 ~ 7/23 日・・・神戸阪急
- '02 10/8 ~ 10/14 日・・・広島そごう

広島そごうは当初9/10~9/16が上記の日程に変更になりました。

- '02 11/19 ~ 11/25 日・・・仙台三越